

GP-RSS カリキュラムの一環として復興現場視察ツアーを行いました（2022/12/16）

テーマ：GP-RSS, 東日本大震災, 伝承施設, 震災遺構

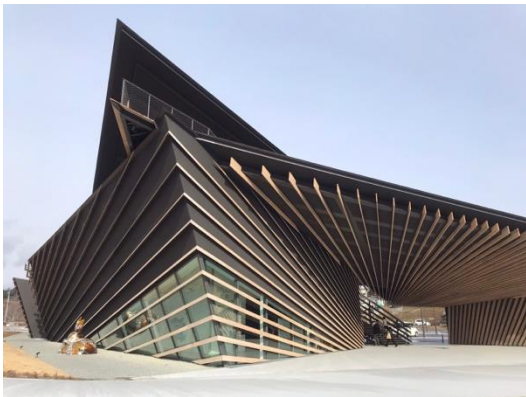
会場：南三陸 311 メモリアル（南三陸町）、みやぎ東日本大震災津波伝承館（南三陸町）、
震災遺構 門脇小学校（石巻市）

当研究所の村尾修教授（国際防災戦略研究分野）は、GP-RSS「災害科学・安全学発展講義」履修学生を引率し、復興現場視察ツアー「One-Day Tour in Post-disaster Recovery Areas」を開催しました。

災害科学・安全学国際共同大学院プログラム（以下 GP-RSS）では、学術的分野からフィールドに至る広域的な分野において、高い専門性を有し国際的に活躍できる人材の育成を目指した実践的国際教育を行っています。そのカリキュラムの一環として、例年、APRU マルチハザードプログラムのサマースクールが利用されていましたが、コロナ禍により今年度も中止となってしまったため、その代替活動として本ツアーが企画されました。

まず南三陸町の南三陸 311 メモリアルを訪れ、ラーニングプログラム「そのとき命が守れるか」に参加しました。これは「もし自分だったらどう行動するか」を話し合い、考える防災教育プログラムです。その後、石巻市のみやぎ東日本大震災津波伝承館と震災遺構 門脇小学校を訪れました。門脇小学校は、津波火災の痕跡を残す日本で唯一の震災遺構です。

今回、被災地を初めて訪れたという学生もあり、伝承施設と復興現場を視察したことで、防災について改めて学び、都市復興についての知見を広げることができました。



南三陸 311 メモリアル



村尾教授のレクチャー



震災遺構 門脇小学校



石巻南浜津波復興祈念公園